

お 別 れ の 言 葉

敬愛する吉田周平先生に捧ぐ

村 瀬 示 路

平常あんなに御健康でお元気だった先生が、こんなに急に亡くなられようとは、誠に夢のようで、御親族の方々には言うまでもなく、私共友人にとりまして、非常なショックでありました。まだやるべき仕事が多山ある、と言っておられた先生御自身にとっては、正に痛恨事だったことと推察します。誠に無常迅速。只々悲痛哀惜の念に堪えません。

思えば、先生が長年早稲田大学に教鞭をとって幾多の人材の育成に当たられたこと、また英語英文学界の耆宿として広く学の内外に尊敬されてこられましたことなどは今更申すまでもありません。私が先生の知遇を得たのは実は最近のことでありまして、3年前に先生が流通経済大学の新設と共に、その創業の難事に取りくまれた時からであります。甚だ短期間ではありましたが、担当学科の関係から御一緒に過ごす時間が多かったので、特別親密な交友関係を結ばせて頂きました。私共は毎週、同じ曜日に、同じ時刻に登校し下校しました。往復6時間に近い長い通勤の途中、或いは車中で、或いは軽食時に、常に行を共にし、いろいろ談笑して参りましたので、先生のお考えや、態度などのすべてに接することができたように思われます。その豊かな学識や、高邁な識見に敬服することは勿論、広く文学、美術、彫刻などから、健康、ダンスなどに就いてまでも、談笑のひとときをもつうちに、先生の温厚篤実な暖かい人柄に、そして時には軽妙洒脱な半面にも親しく触れることができて、心から感銘し、年来の先覚知己として傾倒して参りました。今、突如として先生に逝かれてみると万感交迫り、今後の長い一人道中を思いましても、うたた孤独寂寥の感に堪えません。

先生が創設の難事にあたられ、御苦勞なされた我が流通経済大学も、本年漸く完成年度を迎え、明春は第1回卒業生を送り出す運びとなり、その喜びを共にしようと期待していました矢先、突如先生の急逝を見たことは、返す返すも遺憾千万であります。しかしながら、恐らくは先生の「やるべき仕事」の一つだったと思われる流通経済大学の発展は、幸にも熱心な関係各位の御努力により、着々向上隆盛の一途を辿りつつありますので、先生もこの一つだけに就いては、もって瞑して頂けることと確信しております。

意あまって言葉足りず！ 只いささか、蕪辭を連ねて、謹んで先生の御冥福を心から祈念すると共に、一言お別れの言葉とします。合掌。